

菊川のHOTな情報が分かる！イベント ひと スポーツ まち

Vol.146

2014

1
タウン
情報

世帯数	3,130
人口	7,871
男	3,799
女	4,072

(11月末菊川の人口)

きくがわ



菊川の新成人
あのころ。あの場所。
笑顔リレー
菊川探訪

イベント
カレンダー
※変更の可能性あり。

イベント	日時	問い合わせ
新春登山 (四熊ヶ嶽)	1月1日(水) 5:20 上野八幡宮発 6:00 四熊公民館発	四熊公民館 63-0108
ふれあい懇話会	1月10日(金) 18:30~ JA周南徳山支所	菊川公民館 62-2801
ハイキング大会 ※雨天中止	2月11日(火・祝) 四熊ヶ嶽下権現広場 8:15 小畠バス停発 9:00 上野八幡宮or加見分館発 9:30 四熊公民館発	菊川公民館 62-2801



菊川まつり賑わう



新南陽高校吹奏楽部による演奏
初登場の新南陽高校吹奏樂部による見事な演奏に来場者からは大きな拍手が送られました。グルメカードのほか、地元店舗の商品券が当たる白熱の福引抽選会や中学生企画・菊川ギネスなどが行われ、会場は轟き空を吹き飛ばすほど熱気になりました。恒例のもちまきで閉会した菊川まつり。来年はいよいよ35回目です！



冬間近の四熊路
道中では、四熊各所の史跡について学び、菊川の奥深さを知る一日となりました。次の舞台は

ふるさとウォークに40人！
第3回目となる「ふるさとウォーク」が四熊を舞台に開催されました。「ゆる〜くながらく」をテーマに始まったこのイベント。天候にも恵まれ、四熊の美しい景色を楽しみながら約6キロの道のりを歩きました。

34回目となる菊川まつりが11月17日(日)に菊川小学校、菊川幼稚園を会場に開催されました。初登場の新南陽高校吹奏樂部による見事な演奏に来場者からは大きな拍手が送られました。グルメカードのほか、地元店舗の商品券が当たる白熱の福引抽選会や中学生企画・菊川ギネスなどが行われ、会場は轟き空を吹き飛ばすほど熱気になりました。恒例のもちまきで閉会した菊川まつり。来年はいよいよ35回目です！

【日時】 1月10日(金) 18時30分
【会場】 JA周南徳山支所
【内容】 ゼンざいサービス、ビンゴ大会、飲食
【会費】 男性2,500円 女性1,500円
【申込】 菊川公民館へ、または自治会同窓会に添付の受付票にて申込み。

募集 新春ふれあい懇話会

菊川日和

上野八幡宮の注連飾り作りに

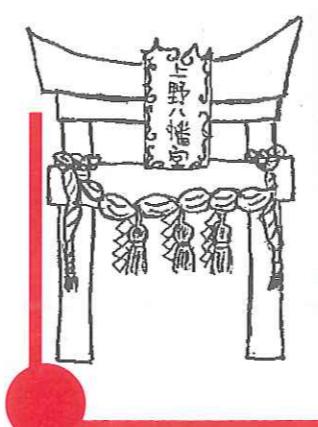
今年の総代とおかみさん達の大所帯30名。作業は稻藁の藁りする中、縄を編み、きれいな藁を渡す人、太さに藁を揃える人、出来て行く縄の端を持つ人の流れ作業。3m位出来ると「いつ切るの」「今でしょ」とおかみさん達の出番だ。「はあ切つてもええで、やりまい」の合図でささくれた藁の髪をチヨキチヨキと鋸でカットする。「まあ毎年こねえなことしそつちゃたんじゃね、知らんじやつた」「初めてよ、いい体验したね」長短あわせ13本作る。

長老が「こりやいけん」「引つ張るかね、叩いたら伸びるかね」とか和気藹々の

中、氏子の皆様に「加護がありますよ」と心を込めての奉仕作業の一日。鳥居の古い注連飾りをはずして境内の御神木に巻いて新しい注連飾りとかけ替え御幣を付けて終了。時折小雨が降り、滑りやすい石段「よいっちゃん、氣いつけんさんよ、ちちひのげるで」ヤレヤレだんだん。

民生委員改選のお知らせ
民生委員の改選が左表のとおりありましたのでお知らせします。福祉や児童についてお悩みがありましたら、地区の民生委員にお気軽にご相談ください。※各委員の連絡先については菊川支所(62-2801)までお問い合わせください。

氏名	担当地域
尾上 邦義	上土井 土井
浴井 紀	向土井 清海
原田 勝造	横矢 新横矢 東武井
相川 巧人	西武井 見明 城山
内田 昭郎	岡上野 上野 内谷 居守迫
高橋 弘孝	岩屋 徳善 西蔵掛 藏掛
井上 秀男	井谷 庄原
谷國 俊博	里四熊 向山 新畑
貞弘 正勝	奥四熊 松兼 插磨尾花
佐古 節	小畠全域(花河原を含む)
明石 日出子	西南野中 西南野下 川本
神杉 直良	西南野上 東南野 間上 中野 八沢
勝屋 和彦	別所 中山 川本平山
重國 明正	下川曲 上川曲 矢橋
兼平 直美	主任児童委員(菊川地区全区域)
藤本 幸子	主任児童委員(菊川地区全区域)



新年の「あいさつ

住みよい菊川をつくる会

会長 小林 雄二

新年あけましておめでとうございます。

新年にあたり、各団体の皆様、地域の皆様のありがたいご協力に、先ずもって心より感謝申し上げます。

今年は、市長主催の「公共施設再配置」がテーマで、地域懇談会の開催がありました。菊川地域には、小畠・下上・加見・四熊地区があり、住みよい地域づくりが話題となってきます。

昨年は、市長主催の「公共施設再配置」がテーマで、地域懇談会の開催がありました。菊川地域には、小畠・下上・加見・四熊地区

があり、住みよい地域づくりが話題となってきます。

住みよい菊川をつくる会は「福祉」「文化」「健康・体育」「生活環境」と部会制で活動しており、多くの皆さんの自主的な参加を望んでいます。

MAP

←ココ!!

菊川支所

JJA

県道津和野線

富田川

募集! 昔の写真はありませんか?

昔の菊川のようすが分かる写真を探しています。

移りゆく時代とともに、少しづつ変化してきた菊川の街。昔を今に伝える写真は非常に貴重な資料として残していかなければなりません。ちょっとしたもので構いませんので、心当たりのある方は菊川公民館までお知らせください。ご提供いただいた資料は、こちらのコーナーで掲載させていただこうともござります。ご協力よろしくお願いいたします。



菊川 探訪

~第15回~

観音橋

が掲載され、莊厳な姿である。又、荷を背負った馬の安全と、同時に旅人や荷が無事に目的地に着く事を祈願した。菊川地区には、更に多くの馬頭観音があるが、いずれも交通の難所に祀つてある。

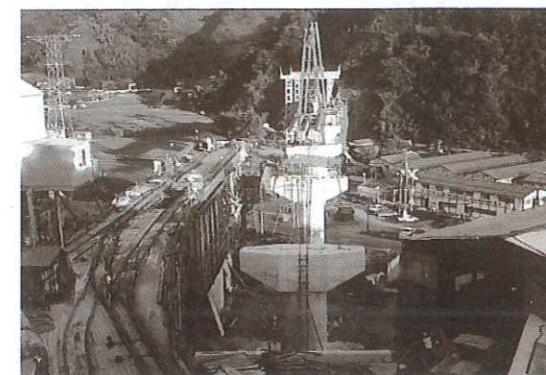
「観音道」と呼ばれる観音霊場を結ぶ道は、大内氏の時代より整備され、道しるべとして「丁石」が置かれた。「丁」は距離の単位で、約109mに相当する。「蓮宅寺」から、別所、川本、蔵掛、菊川を渡る「観音橋」、徳善、次の第十六札所「石屋寺」までの間に多くの丁石が残り、往時の街道を偲ぶことが出来る。残つたと云つより地域の人達が守つた証であろう。その意味でも「観音橋」は貴重であり、橋の東側にある「丁石」には「十七」(蓮宅寺からの距離)と寄進者として「神松清藏」の文字が刻まれている。又、菊川支所の前庭にも、「十三丁」と彫つた「丁石」があり、何かの理由で、この地に移動されたのだろう。この冬は、「馬頭観音」を目指し、「丁石」探しのウォーキングを楽しもう!~

今年は午歳であり、馬の様に飛躍し、天馬の様に上昇する運気を願う気持ちである。馬は人に身近な動物であり、乗り物として農耕等の労働力として大切にされてきた。

周防国三十三観音霊場は、第一番札所 楽寺(岩国市)から第十二番札所 龍感寺(山口市)であり、その内「馬頭観音」を本尊にしているのは、第十五番札所の「蓮宅寺」が唯一である。この寺は徳山の北山から水上峠を越えた中山地区にあり、馬が交通の難所で遭難した馬の靈を慰める為に、観音様が安置された(現在この寺で本尊を見ることとは出来ないが、「菊川のむかしむかし」に写真



山陽新幹線開通工事(昭和46年 横矢から撮影)



工事のようす(撮影日時不明)

あのころ。
あの場所。

ふるさと菊川の昔の写真を紹介します。
なつかしさと新しい発見に出会えるかもしれませんね。

笑顔リレー



写真左:桃季ちゃん(1才)



ななみちゃん(3才)
はるきくん(1才)



ゆりちゃん(3才)

大地の大樹でスクスク実れよ!

支所に来てくれた元気なちびっこ達です。大きくなつてね!!